

組織細胞生物学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Ito S, Kasahara N, Kitamura K, Matsunaga S, Mizoguchi T, Myo Win Htun, Shibata Y, Abe S, Takano M, Yamaguchi A: Pathological differences in the bone healing processes between tooth extraction socket and femoral fracture. *Bone Reports* 16: 101522, 2022. doi: 10.1016/j.bonr.2022.101522. (IF: 2.5)
2. Hattori N, Nakagawa T, Yoneda M, Hayashida H, Nakagawa K, Yamamoto K, Htun MW, Shibata Y, Koji T, Ito T: Compounds in cigarette smoke induce EGR1 expression via the AHR, resulting in apoptosis and COPD. *Journal of biochemistry* 172(6): 365-376, 2022. doi: 10.1093/jb/mvac077. (IF: 2.116)
3. Chojjookhuu N, Shibata Y, Ishizuka T, Xu Y, Koji T, Hishikawa Y: An Advanced Detection System for In Situ Hybridization Using a Fluorescence Resonance Energy Transfer-based Molecular Beacon Probe. *Acta Histochemica et Cytochemica* 55(5): 119-128, 2022. doi: 10.1267/ahc.22-00075. (IF: 2.4)
4. Ono M, Komatsu M, Ji B, Takado Y, Shimojo M, Minamihisamatsu T, Warabi E, Yanagawa T, Matsumoto G, Aoki I, Kanaan NM, Sahara T, Sahara N, Higuchi M: Central role for p62/SQSTM1 in the elimination of toxic tau species in a mouse model of tauopathy. *Aging cell* 21(7): e13615, 2022. doi: 10.1111/accel.13615. (IF: 7.8)
5. Nakagaki T, Kaneko M, Satoh K, Murai K, Saiki K, Matsumoto G, Ogami-Takamura K, Ikematsu K, Akagi A, Iwasaki Y, Tsurumoto T, Nishida N: Detection of Prions in a Cadaver for Anatomical Practice. *The New England journal of medicine* 386(23): 2245-2246, 2022. doi: 10.1056/NEJMc2204116. (IF: 158.5)

B 邦文

B-a

1. 橋口慶一, 中尾康彦, 高橋孝輔, 塩田純也, 赤司太郎, 福島真典, 田淵真惟子, 佐々木 龍, 北山 素, 松島加代子, 本田琢也, 小澤栄介, 三馬聡, 赤澤祐子, 山口直之, 宮明寿光, 中尾一彦: 複数主治医制導入に伴う医師負担軽減と若手教育への波及効果についての検討. *長崎医学会雑誌* 97(3): 223-230, 2022.
2. 谷川舞, 福島真典, 藤野亮太, 吉良圭史, 長田和義, 小松直広, 田島和昌, 高橋孝輔, 鳥越健太, 佐々木龍, 三馬聡, 赤澤祐子, 宮明寿光, 中尾一彦: 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法により敗血症・尿細管間質性腎炎を発症した1例. *長崎医学会雑誌* 97(3): 247-253, 2022.

B-c

1. 菱川善隆, Narantsog Chojjookhuu, 石塚 匠, 柴田恭明, 小路武彦: FISH・ISH. 【病理と臨床】 (がんゲノム医療時代の分子腫瘍学, 第1部 がんの分子病理学, B. 解析法, 文光堂) 40(臨時増刊): 41-46, 2022.
2. 菱川善隆, Narantsog Chojjookhuu, 石塚匠, 柴田恭明, 小路武彦: In situ hybridization法. 【組織細胞化学 2022】 (日本組織細胞化学会, 中西印刷, 京都) : 111-120, 2022.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	0	3	14

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
赤澤祐子・教授	評議員	日本消化器病学会
赤澤祐子・教授	九州支部評議員	日本消化器病学会
赤澤祐子・教授	九州支部評議員	日本消化器内視鏡学会
赤澤祐子・教授	代議員	日本ヘリコバクター学会
赤澤祐子・教授	編集委員	Helicobacter Reseach
赤澤祐子・教授	世話人	長崎大学胃疾患検討会
赤澤祐子・教授	代議員	日本解剖学会
柴田恭明・准教授	代議員	日本組織細胞化学会
柴田恭明・准教授	代議員	日本臨床分子形態学会
柴田恭明・准教授	Editorial Board Member	Acta Histochemica et Cytochemica

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
赤澤祐子・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 被ばく者癌における遺伝子変異シグネチャー解析
柴田恭明・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 精母細胞減数分裂前期に残存する核小体の微細構造と機能の電顕的・分子解剖学的解析
松本 弦・講師	日本学術振興会	代表	新学術領域研究(研究領域提案型) タンパク質凝集体分解促進のための新規アグリファジー誘導経路
松本 弦・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) タウ凝集体の分解を促進するアグリファジーの制御機構
松本 弦・講師	日本学術振興会	分担	新学術領域研究(研究領域提案型) 神経変性疾患におけるシンギュラリティ現象の解析と分子機構の解明
松本 弦・講師	AMED（九州大学拠点）	代表	令和4年度橋渡し研究プログラム・シーズA アグリファジー誘導化合物の標的分子探索とタウオパチー治療薬開発
松本 弦・講師	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) リゾリン脂質による α -シヌクレイン凝集抑制機構の解明と神経変性疾患への創薬展開
松本 弦・講師	コスモ・バイオ株式会社		線維化タウ蛋白質の製品化

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
松本弦・講師	パーキンソン病と多系統萎縮症の鑑別診断	2021年1月4日	出願中	特開2022-105412

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
柴田恭明・准教授	非常勤講師（病理学）	九州文化学園歯科衛生士学院
柴田恭明・准教授	非常勤講師（病理学・生理学）	長崎医療こども専門学校
柴田恭明・准教授	非常勤講師（病理学）	長崎玉成高等学校衛生看護科
松本 弦・講師	非常勤講師（生理学）	長崎医療こども専門学校
松本 弦・講師	非常勤講師（脳神経内科寄付講座）	順天堂大学医学部

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
松本 弦・講師	オートファジーで神経細胞が保護されることを量子研からプレスリリースした。	科学新聞	2022年6月17日	長崎大でのp62活性化剤のスクリーニングについて解説された